

〒602-8580 京都市上京区新町上立西入ル西大路町
TEL.075-251-3185 © 同志社大学体育会機関紙
Doshisha Sports アトム
令和8年(2026)〈号外〉同志社水泳部 紫煌
09/03 木曜日 発行人 横江慶太郎
http://doshisha-atom.net/ 編集人 益野 瑛貴

仲間とともに全国で飛躍せよ

同志社アトム

紫煌

同志社水泳部
藤本200m Fly 3連覇へ

3年生 高嶋悠雅

【関西学生選手権水泳競技大会】
'25 男子 50m フリー 銀
'25・'26 男子 100m バタフライ 金

4年生 藤本穂

【関西学生選手権水泳競技大会】
'26 女子 100m バタフライ 金
'26 女子 200m バタフライ 金
【日本学生選手権水泳競技大会】
'24・'25 女子 200m バタフライ 金
【世界水泳選手権】
'25 女子 200m バタフライ 準決勝進出

2年生 阪井優心

【関西学生選手権水泳競技大会】
'26 女子 200m バタフライ 銅

2年生 岡本和奈

【関西学生選手権水泳競技大会】
'25 女子 400m フリー 銀
'26 女子 400m フリー 銅
'26 女子 800m フリー 銀

1年生 鈴木茉陽

【関西学生選手権水泳競技大会】
'26 女子 200m 個人メドレー 銅

1年生 梶本幸花

【関西学生選手権水泳競技大会】
'26 女子 200m 個人メドレー 金
'26 女子 400m 個人メドレー 銀

26 関西選手権メダリスト紹介



上・表彰台で笑顔を見せるリレーメンバー
中央左・自由形を泳ぐ岡本
中央右・バタフライを泳ぐ高嶋
下・声援を送る部員たち
【切り込み写真】
関西王者に輝いた藤本と高嶋

紫煌に込められた想い
今年度は「古王再建」を実現するべく、「紫煌(しこう)」を掲げ、1年間、主将・根倉を中心に苦楽を共にしてきた水泳部。カンカレでは、男子総合5位、女子総合3位とチーム一丸となり日々の鍛錬の成果を見せつけた。



▲スローガンを手に登場する部員たち

◆水泳部◆9月3〜6日◆第102回日本学生選手権水泳競技大会◆競泳競技◆東和薬品 RACTAB D1M(大阪府)◆インカレ出場権を懸けた関西学生選手権(以下、カンカレ)で熱戦を繰り広げた同志社。個人種目では藤本穂、高嶋悠雅が躍動し、リレーでも関西の頂をつかむなど、爪痕を残した。そんな彼らが次に挑むのは、9年ぶりに大阪で開催されるインカレ。これまで積み重ねてきた日々、そして102期まで積み重ねてきた物語の全てを胸に、同志社水泳部は集大成の舞台へと向かう。

3日間に及ぶカンカレで数々の熱いレースを生み出したDUS。計19人の選手たちがブライドを持ち、男子総合5位、女子総合3位で大会を終えた。藤本のバタフライでの2冠をはじめ、根本もルーキーながら個人で金、そして銀の2枚を獲得。昨年の200mバタフライで王者に輝いた高嶋も連覇を果たす活躍を見せた。また、女子4×100mフリーリレーでは2位入賞。さらに、女子4×200mフリーリレーでは藤本、阪井、鈴木、梶本の4人が最初で最後のレースで圧巻の泳ぎを披露した。ここに笑顔で挑んだ4人は第1泳者の藤本が周りを寄せ付けず、後続につなぐレースを展開。レース終了までトップを譲ることなく関西の頂に君臨した。

奮闘

激戦

◆同志社個人種目出場一覧◆

男子 100m 背泳ぎ	藤澤明輝 (法2)	女子 50m 自由形	井上ひなた (スポ3)
男子 100m 平泳ぎ	嶋田篤人 (スポ1)	女子 400m 自由形	岡本和奈 (心理2)
男子 200m 平泳ぎ	谷本寛太 (経1)	女子 100m バタフライ	藤本穂 (スポ4)
男子 50m 自由形	高嶋悠雅 (スポ3)	女子 200m バタフライ	藤本穂
男子 100m 自由形	高嶋悠雅	女子 200m 個人メドレー	阪井優心 (スポ2)
男子 200m 自由形	洲崎透真 (経3)	女子 400m 個人メドレー	鈴木茉陽 (スポ1)
	洲崎透真		鈴木茉陽
	金田浩聖 (経2)		
男子 400m 自由形	佐藤壮一郎 (スポ1)		
男子 1500m 自由形	根倉悠樹弘 (スポ4)		
	今福和志 (商1)		
	今福和志		

※梶本幸花(スポ1)はOWS世界ジュニア選手権出場のため、今大会の競泳の部は出場なし

梶本OWS世界ジュニア選手権出場

個人メドレーの2種目で表彰台入りを果たした梶本。期待の新戦力として入部し、800mフリーリレーではアンカーを務めた。カンカレでは個人・団体ともに金メダルを獲得。多岐種目で計4つのメダルを手にし、ルーキーながら確かな存在感を示した。彼女の活躍の場はプールにとどまらない。海や川を舞台としたオープンウォータースイミング(OWS)との二刀流を実現してい



▲平泳ぎをする梶本

のインカレに挑む。3連覇が懸かった今大会に向けて「目標は自己ベスト更新。その先に3連覇がある」と力を込めた。競泳部門では2017年以来、9年ぶりに関西で行われる全日本学生選手権。慣れ親しんだ大阪の地で幼い頃から幾度も熱いレースの記憶を刻んできた。その思いの詰まった場所。昨年のインカレから主将・根倉を中心に歩みを進めてきた102期同志社水泳部が、集大成を迎える。一人一人が誇りと覚悟を胸に、迎えるインカレ。号砲が鳴り響くと同時に戦いの火ぶたを切り、最後の舞台で長い歴史に名を刻む。

想い

レイアウト 内川 穂波